

# さわかぜ

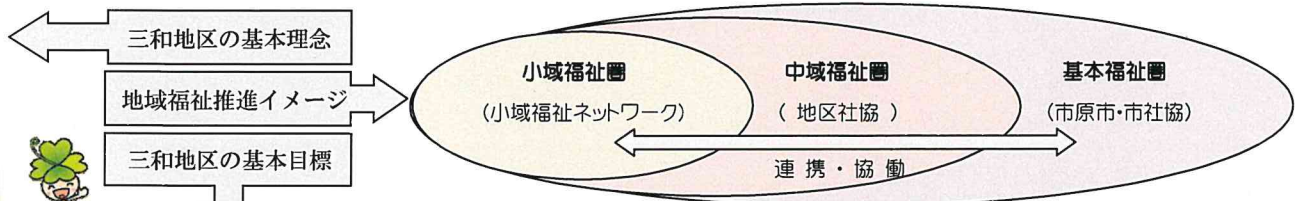
発行責任者: 三和地区社会福祉協議会  
会 長 福田 隆一  
編集責任者: 広報部長 川上 保  
事 務 局: 三和保健福祉センター内  
(サンハート内)

sanwa chiku-syakyo

三和地区社協  
2023年度  
始 動 !

## 自らの地域福祉みんなで進めよう

みんながつながる、支え合い・助け合う三和をつくろう!



地域のつながりを豊かにするための仕組みづくりに取組みます【共創】

地域の誰もが互いに支え合うコミュニティづくりに取組みます【共感】

地域で安心して幸せに暮らせる基盤づくりに取組みます【共生】

## 第2次地区行動計画(要旨)

### 基本目標 1

#### ① 地域福祉を知る機会の充実

- 1) 広報啓発事業→地域住民が、身近な地域福祉活動を知り、活動への参加意欲を高めて頂ける広報紙の発行に努めます。
- 2) 生活困窮者支援活動→困ったときはお互い様の地域づくりを推進するため、食料品等の寄付を呼びかけ、市社協のフードネットワーク事業と連携した支援活動を進めます。
- 3) 福祉バザー (歳末たすけあい募金)  
→地域で取組んでいる歳末福祉事業の財源確保に向け、福祉バザーまたは、たすけあい募金に取組んでまいります。
- 4) 地域福祉支援事業→各小域福祉NWを通じた地域住民の声を捉え、後の地域福祉支援事業へ反映させてまいります。



#### ② 人と人とのふれあいを育む場の推進

- 1) (仮称) 共生型サロン事業→年齢に制限なくすべての地域住民を対象に、ふれあいを通じた仲間づくりや活躍の場を提供し、共に支え合う福祉意識の醸成を図ります。
- 2) 子供の居場所づくり活動→地域ニーズに応じ、子供たちが定期的に集える場の提供と、世代間の絆を深める取組みを進めます。
- 3) 子育てサロン事業  
→子育て家庭の孤立防止に向け、ふれあい・仲間づくりを促進します。



### 基本目標 2

#### ① 寄り添い支えていく体制の強化

- 1) 相談支援事業→地域関係団体と連携し、住民が抱える困りごとを早期に把握。ケース会議を通じ解決へ向けた適切な支援につなげます。
- 2) 安心生活見守り支援事業→訪問員による高齢者への安心生活見守りサービスを継承します。

#### ② 生活を支えるための体制の強化

- 日常生活支援事業その1  
→たすけあい三和による高齢者生活支援有償サービスを継承します。
- 日常生活支援事業その2



→適切な外出手段がなく、買い物に不便を抱える高齢者に対する買い物支援サービスを継承します(光風台)。また、他三和地区も導入への検討を進めます。  
→一方、移動販売車の利用を導入した町会(大桶・川在・新巻・新堀)も運用を継承します。

### 基本目標 3

#### ① 地域で活躍する人材の育成

- 1) 福祉の学びの機会提供に取組みます。
- 2) 生活支援担い手養成研修等の開催を進めます。

#### ② 災害対応力強化に向けた体制の構築

\* 災害発生時の迅速な復旧を担う災害ボランティア組織化訓練等、非常時対応スキル向上に努めます。

#### ③ 地域の安心安全を守る活動の推進

\* 緊急時連絡カードの配布・更新、児童登下校時の見守りと、あいさつの励行運動を継承します。

< 三和地区社会福祉協議会構成団体および理事定数 > 地区社協は皆さんの身近な団体によって組織されています

* 町会長会(各地区町会長会)	代表 4名	* 市原市手をつなぐ親の会	代表 1名	* 消防団三和支団	代表 1名
* 民生児童委員協議会	代表 8名	* 三和コミュニティセンター運営協議会	代表 1名	* 市原市防犯協会三和支部	代表 1名
* 各地区小域福祉ネットワーク	代表 8名	* 行政関係者(三和支所)	代表 1名	* 三和地区青少年相談員	代表 1名
* 子育て家庭支援員	代表 3名	* 地域包括支援センターひまわり	代表 1名	* 食生活改善員	代表 1名
* 更生保護女性会	代表 3名	* 三和地区学校関係者	代表 1名	* 三和地区福祉施設	代表 1名
* 老人クラブ連合会三和支部	代表 2名	* 市原市商工会議所三和支部	代表 1名	* 三和地区社協推薦者	代表 13名
* 保護司会三和支部	代表 1名	* 地区社会体育振興会スポーツ推進委員	代表 1名	◇ 2023年度理事定数	54名





# 回顧録

第5弾



元千葉県警察本部  
水上警察隊 統括船長  
佐川 良晴

シリーズ ②

地元(大多喜)の小学校へ進んだ私は、貧しいながらも自由奔放な幼少期を過ごした。だが、平穏な生活も長続きはせず、私が中三の時、義母もまた病で倒れ、大手術を受けた。その結果、家業であった農業は止めざるを得なくなった。地元高校への進学を決めていた私の状況を一変、働きながら学ぶ道を選択した。

東京で叔母の養女となっている姉とも相談し、都立定時制高校を受験。寄宿先は就職先の寮として、職・住・学的生活環境を整えた。昼は仕事、夜は勉強という生活に、戸惑いこそあったものの、雇主の気遣いや周りの励ましにも支えられ、何とか自立した生活を送ることが出来た。そんな中、高三の時、

## 職・住・学的环境整え 自立の道へと歩む

学校の学生募集記事が目止まった。入校・卒業後は、国家公務員としての道が開かれることもあり、受験を決意。努力の甲斐あって、無事合格することができた。海上保安学校は、京都府舞鶴市にあり、全寮制である。親元を離れる際、駅まで見送ってくれた母の顔は涙でぐしゃぐしゃになっていて、それが今でも忘れられない。入校後は、同じ自習室・寝室で生活する「班」と、4・5の班で「分隊」が編成され、同じ部屋では、先輩学生と後輩期生が、課外やコースに関わりな

く生活しており、学生生活を通じて、海上保安官に必要な正義心・愛の精神、規律、責任感、協調性、気力・体力の錬成が図られる。間と集団としての厳格な規律、命を共にする責任感や協調性の重要性が叩き込まれる。夏ごろになると、乗船実習が始まったが、船酔いには本当に苦しんだ。入校後半からは、進路別授業となり、船舶運航の航海科や航海計器の取り扱い等、船舶運航の基礎を学び卒業の時を迎えた。

【次号へと続く】

## 賛助会員加入のお願い

まごころの寄付から始まる  
地域福祉への参加！



### 賛助会員とは……

三和地区社会福祉協議会では、地域福祉の向上を目的に、地域住民の皆さまをはじめ、地区内各種団体の支援を頂きながら地域福祉事業に取り組んでいます。

この地域活動を支えて頂くのが、**賛助会員制度**で、多くの皆さまに事業活動資金として、賛助会員の会費を拠出して頂いております。

会費の納入によって資格とか権利が生じるものではありませんが、『**みんながつながる、支え合い助け合う三和をつくろう**』という、地区社協の基本理念の下、地域の福祉活動に取り組んでおります。(1面をご参照下さい)

募集期間：2023年7月1日(土)～8月31日(木)

賛助会費：個人会員様1,000円/1口～

団体会員様(町会としてのご寄付等)→5口～

※ 口数は何口でも結構です。また、お気持ちがあれば、1,000円未満でも構いませんのでご協力をお願い致します。

※ 会員加入のお伺いは、町会に帰属する社協理事、帰属理事のいない町会では、町会長または民生児童委員の方に取まとめをお願いしております。

賛助会費はどう使われるの？→一般会計に繰入れ社協の活動資金となります。

◇2023年度収入計画予算(3,828千円)

賛助会費収入(自主財源)

前年度繰越金収入 2,013千円	市社協交付金収入 1,415千円	400千円
◇2023年度支出計画予算(3,828千円)		
地域福祉基金 繰出金 1,000千円	予備費 724千円	事業費 1,140千円
2022年度末 基金繰入実績 1,000千円	2023年度末 基金繰入計画 1,000千円	運営費 550千円

### 事業費目と各団体への助成

- 地域づくり部 → 共生型サロン事業  
福祉バザー事業  
子育てサロン事業
- 生活支援部 → 高齢者支え合い事業  
買い物ツアール事業  
相談支援事業
- 安心安全部 → 安心安全を守る事業  
子供の安全を守る事業  
災害支援ボランティア事業
- 連携基盤づくり部 → 賛助会員募集事業  
担い手養成事業  
福祉教育活動促進事業
- たすけあい → 高齢者・障がい者支援  
たすけあい三和事業
- ネットワーク部 → 4地区ネットワーク事業
- 広報部 → 広報による啓発事業
- 運営費 → 会議費、交際費、研修費  
事務費、拠点経費

◇各助成先→民生委員児童委員協議会  
老人クラブ連合会三和支部  
子育て家庭支援員三和支部  
更生保護女性会三和支部  
市原市手をつなぐ親の会  
食生活改善協議会三和支部  
青少年相談員三和支部

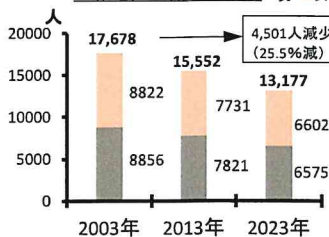
### 地域福祉基金とは？

3年間に及ぶコロナ対応規制により、事業の縮小・中止に伴う繰越金が増加。

この余剰金対策として一般会計から分離した基金としての管理により、新たな地域福祉事業の財源に充当する目的から、2022年度理事会審議を経て制定された三和地区地域福祉基金規程に基づき運用されています。

なお、本基金を取り崩す場合は、理事会での審議・承認が必要な特別会計となっています。

三和地区全体人口推移 男 女

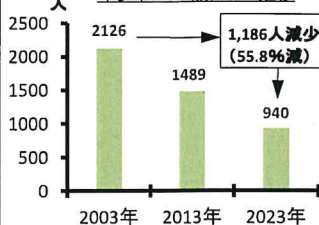


平均年齢推移

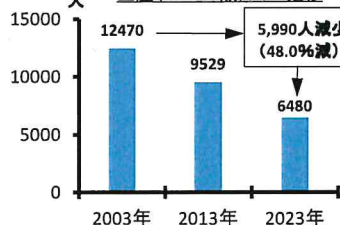


### データで見る三和地区人口動態推移

年少(0～14歳)人口推移



生産(15～64歳)人口推移



老年(65歳以上)人口推移

